

事業所名		りとる大地				支援プログラム		作成日		R7	年	2	月	1	日
法人（事業所）理念		地域及び家庭と連携を図りながら将来を見通し社会に適応していけるよう適切な支援を行うものとする。													
支援方針		生活能力の向上のために必要な訓練、社会との交流を通して社会に適応していけるよう日々の活動を通して支援します。													
営業時間			9 時		0 分から		17 時		30 分まで	送迎実施の有無		あり			
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	基本的な生活スキル（食事・排泄・衣服の着脱）の習得の支援を行います。 苛立ちや悩みは、子どもと一緒に整理しながら解決策の見通しを立て、精神面の安定を図ります。													
	運動・感覚	運動機能・バランス感覚・様々な身体感覚に触れ、感覚の成長を支援します。 感覚や認知の特性を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整を支援します。													
	認知・行動	認知の特性を踏まえ、認知の偏りが軽減するよう支援します。 感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生じる行動障害の予防及び適切な行動への対応を促していきます。													
	言語 コミュニケーション	具体的な事物や体験と言葉の意味を結び付ける等により言語の習得・自発的な発声を促します。 人とのやりとりを通して共同注視の獲得を含めたコミュニケーション能力向上の支援を行います。													
	人間関係 社会性	遊びや活動の中で人の真似をする機会を作り、人に対する意識の芽生え・社会性に対し支援します。 役割分担やルールを守って遊ぶことを通し、徐々に社会性の発達を支援します。													
家族支援		定期的に面談を開催。子どもの発達や特性について、進路や繋がり先の情報、保護者様同士の交流会等の機会を提供します。							移行支援		子ども達が共に成長でき、可能な限り地域の保育・教育等の支援を受けられるよう情報共有連携を図ります				
地域支援・地域連携		関係する学校や病院、相談支援事業所等と様子を報告するなど情報共有し、蜜な連携を図ります。 適宜、担当者会議を行います。							職員の質の向上		虐待防止、身体拘束の適正化についての研修会 感染防止研修会、安全・衛生委員会、長崎市子ども部会への参加				
主な行事等		季節に応じた活動、施設・工場見学、防災訓練、ボランティア（たんぼぼボランティア）によるお話し会 商店街でのお買い物学習、保護者交流、他事業所交流会、公共施設利用（べんぎん水族館、科学館等）													